

作成 2010年10月1日
改定日 2020年3月9日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称(製品名) : タイルシン
 整理番号 : 1050
 会社名 : 株式会社リスダンケミカル
 住所 : 東京都豊島区池袋3-26-15
 TEL:03-3984-5578 FAX:03-3984-5510
 担当部門 : 埼玉工場 技術部
 TEL:048-569-3133 FAX:048-3984-5578
 緊急連絡先 : 本社営業部
 TEL:03-3984-5578 FAX:03-3984-5510
 推奨用途及び使用上の制限 : 陶器用洗剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性/引火性ガス	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
支燃性/酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類できない
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分2
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	区分1
急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	区分外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分1
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境有害性・急性	区分外
水生環境有害性・慢性	区分外

健康に対する有害性

環境に対する有害性

ラベル要素

絵表示またはシンボル :



注意喚起語

: 危険

- 危険有害性情報 : 金属の腐食のおそれ
 飲み込むと有害
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 臓器の障害
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器障害
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- 注意書き : 【安全対策】
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 換気が十分でない場合は呼吸用保護具を着用すること。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
 屋外または換気のよい区域のみ使用すること。
 眼、皮膚への接触を避けること。
 ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
 この製品を使用する時に飲食または喫煙はしないこと。
 空容器に圧力をかけないこと(破裂の恐れがあるため)。
 可燃物、禁忌物質と混合を回避するために予防策をとること。
 環境への放出を避けること。
 【応急処置】
 火災の場合: 消火に棒状水、霧状水などを使用すること。
 飲み込んだ場合: 無理に吐かせず口をすすがせ、直ちに医師の手当てを受けること。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師にすること。
 飲み込んだり、吸入又は接触したか、または暴露の懸念がある場合、気分が悪い時は医師の手当てを受けること。
 眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受けること。
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼で洗うこと。直ちに医師の診断を受けること。
 漏出の場合: 物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。
 【保管】
 施錠して保管すること。
 容器を密閉して換気の良い所で保管すること。
 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
 【廃棄】
 内容物/容器を規則に従って廃棄すること。
 使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

物質

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名
 化学式 : 特定できない
 成分及び含有量 : 塩化水素 7.6%
 硫酸 1.9%
 ポリ(オキシエチレン)
 =アルキルエーテル 0.1%
 水 85~95%

4. 応急処置
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移す。身体を毛布などでおい、保温して呼吸して嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。速やかに医師の診断を受ける。呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類をゆるめ、呼吸気道を確保した上で人工呼吸(又は、酸素吸入)を行う。保温して安静に保ち、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。寸秒でも早く洗浄を始め、付着した製品を多量の水(又は微温湯)と石鹼を使ってよく洗い流す。洗浄が遅れたり、不十分だと皮膚の障害を生じる恐れがある。直ちに医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 寸秒でも早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼のすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。洗浄が遅れたり、不十分だと不可逆的な眼の障害を生ずる恐れがある。直ちに眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 大量の水を飲ませて薄める。口をすすいだ後、直ちに医師の手当てを受ける。無理に吐かせてはならない。被災者の意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
- 応急処置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。救助者は被災者に触れないようにして、手持ちのホースから大量の水で有害物を洗い落とす。
- 予想される急性症状及び遅発性症状並びに最も重要な兆候及び症状 : 結膜炎、角膜壊死、失明、痛み、腹痛、嘔吐
- 医師への特別注意事項 : 情報なし
- : 安静と医学的な経過観察が必要である。
5. 火災時の措置
- 消火剤 : 棒状水、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 爆発性でも引火性でもないが、各種の金属を腐食して水素ガスを発生し、これが空気と混合して引火爆発することがある。
- 特有の消火方法 : この製品自体は不燃性であるが、周辺火災の場合以下の措置を行う。火災発生場所の周辺に、関係者以外の立入りを禁止する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。容器、周囲の設備などに散水して冷却する。消火活動は、可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な空気呼吸器、化学用保護衣、保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 直ちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。漏出物の上を歩いてはいけない。関係者以外の立ち入りを禁止する。作業者は適切な保護具(「9. 暴露防止及び保護の措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やミストやヒュームの吸入、誤飲を避ける。風上から作業し、風下の人を非難させる。
- 環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはならない。河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないように注意する。
- 回収、中和 : 容器からこぼれた時は、可能であれば、空容器に回収する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、蜜閉できる耐腐食性の空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止、安全な場所に導いてから処理する。関係者以外のは立入り禁止の処置をし、できる限り回収に努める。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

- 危険なくできるときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
適切な保護具を着用し、吸引や眼、皮膚、衣類への接触を防ぐ。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 局所排気装置・全体換気接触回避 : 局所排気内、または全体換気の設備のある場所で行う。
使用前にすべての安全注意を読み、理解するまで取扱わない。
取扱いは換気の良い場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないよう注意する。
酸性なのでアルカリ性の製品との接触を避ける。
鉄などの錆びさせるため、設備には防錆加工が必要である。
金属と反応するので、適切な材質を選択する。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
取り扱い後はよく手を洗う。
- 安全取扱い注意事項 : 保護具や器具類などは耐食性のものを用いる。
汚染された衣服は、水でよく洗う。
- 保管
- 技術的対策 : 接触、吸入を防ぐため適切な保護具(防毒マスク、保護眼鏡、耐酸性用前掛け、同ゴム手袋、同ゴム長靴等)を着用する。
- 混触禁止物質 : アルカリ性と一緒に保管してはならない。
- 保管条件 : 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
密栓した容器に保管する。
- 容器包装材料 : 材質については腐食性が強いので、鑄鉄製の物は使用できない。
ゴムライニングの鉄製タンク又は、FRP製のタンク又は、ポリエチレン製容器に保存する。
8. 暴露防止及び保護措置
- 管理濃度 : 規定なし。
(作業環境評価: 厚生労働省告示第79号別表)
- 許容濃度(ばく露限界、生物学的ばく露指標)
- 日本産衛学会(2009年度版) : 設定されてない。
- ACGIH(2009年度版) : 設定されてない。
- 設備対策 : 取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱い場所近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 酸性ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器
- 手の保護具 : 耐酸性手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル、保護面
- 皮膚及び身体の保護 : 安全帽、保護服、保護前掛け、保護長靴等
- 衛生対策 : 取り扱う後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
9. 物理的及び化学的性質
- 物理的状态
- 形状 : 液体
- 色 : 透明
- 臭い : 刺激の有る塩素臭
- pH : 1
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点 : データなし
- 発火点 : データなし
- 引火点 : 不燃性
- 爆発範囲(爆発限界) : 不燃性
- 蒸気圧 : データなし

蒸気密度(空気=1) : データなし
 比重(密度) : 1.06g/cm³(20°C)
 溶解度 : 水に易溶
 n-オクターノール/水分配係数 : データなし
 自然発火温度 : データなし
 流動点 : データなし
 発揮性 : なし(常温)

10. 安全性及び反応性 :
 安定性 : 通常の条件下では安定である。
 危険有害反応可能性 : 酸性水溶液で多くの金属と反応して塩化物と水素ガスを発生する。この水素と空気が混合して爆発性混合気を生ずる。クロム酸塩、過マンガン酸塩、過硫酸塩と反応して塩素を発生する。また金属の過酸化物と反応して、その塩化物と塩素を生成する。
 避けるべき条件 : 混触危険物との接触。
 混触危険物質 : 塩基、酸化剤、金属との接触
 危険有害な分解生成物 : 塩素、水素

11. 有害性情報
 (別表)急性毒性(経口、経皮及び吸入)

	含有量 (%)	経口	経皮	吸入 (ガス)	吸入 (蒸気)	吸入 (粉塵・ミスト)
塩化水素	7.6%	区分4 238mg/kg	区分外 5010mg/kg	区分3 1411ppm	区分2 0.42mg/L	分類できない
硫酸	1.9%	区分5 2140mg/kg	分類できない	分類対象外	分類できない	区分2 0.375mg/m ³
ポリ(オキシエチレン) =アルキルエーテル	0.1%	区分4 1100mg/kg	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない
水	85~95%	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない

急性毒性
 経口 : 以下の区分の急性毒性(経口)の物質を含む。
 区分4: 塩化水素、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル
 区分5: 硫酸
 混合物として急性毒性(経口)は区分4(飲み込むと有害)に分類される。
 経皮 : 情報が不足しているため、急性毒性(経皮)は分類できない。
 吸入(ガス) : 情報が不足しているため、急性毒性(吸入:ガス)は分類できない。
 吸入(蒸気) : 情報が不足しているため、急性毒性(吸入:蒸気)は分類できない。
 吸入(粉塵・ミスト) : 以下の区分の急性毒性(吸入:粉塵・ミスト)の物質を含む。
 区分2: 硫酸
 区分4: 塩化水素
 情報が不足しているため、急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)は分類できない。
 皮膚腐食性/刺激性 : 以下の区分の皮膚腐食性/刺激性の物質を含む
 区分1: 塩化水素、硫酸
 区分3: ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル
 混合物として皮膚腐食性/刺激性は区分1(重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷)に分類される。
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 以下の区分の眼に対する眼刺激性の物質を含む。
 区分1: 塩化水素、硫酸、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル
 混合物として眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1(重篤な眼の損傷)に分類される。
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 情報が不足しているため、呼吸器感作性又は皮膚感作性は分類できない。
 生殖細胞変異原性 : 情報が不足しているため、生殖細胞変異原性は分類できない。

- 発がん性
生殖毒性
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)
吸引性呼吸器有害性
12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性 急性
水生環境有害性 慢性
残留性・分解性
生態蓄積性
土壌中の移動性
他の有害影響
環境基準
13. 廃棄上の注意
(残余廃棄物
汚染容器及び包装)
14. 運送上の注意
国際規制
国連分類
国連番号
国内規制
陸上
海上
航空
特別の安全対策
15. 適用法令
消防法
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法
- : 情報が不足している為、発がん性は分類できない。
: 情報が不足しているため、生殖毒性は分類できない。
: 以下の区分の特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)の物質を含む。 区分1:塩化水素、硫酸
混合物として特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)は区分1(臓器の障害)に分類される。
: 以下の区分の特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)の物質を含む。 区分1:塩化水素、硫酸
混合物として特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)は区分1(長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害)に分類される。
: 以下の区分の吸引性呼吸器有害性の物質を含む
区分1:塩化水素
混合物として吸引性呼吸器有害性は区分1(飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ)に分類される。
- : 以下の区分の水生環境有害性(急性)の物質を含む。
区分1:塩化水素
区分2:ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル
区分3:硫酸
情報が不足している為、水生環境有害性(急性)は分類できない。
: 以下の区分の水生環境有害性(慢性)の物質を含む。
区分1:塩化水素
情報が不足している為、水生環境有害性(慢性)は分類できない。
- : 有効であるが、高濃度では魚類、植物を侵す恐れがある。
: 情報なし
: 情報なし
: 情報なし
: 情報なし
- : 毒物および劇物の廃棄方法に関する基準に従って、無害化してから廃棄する。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適性に処理する。
投棄禁止。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
- : クラス 8 容器等級 III
: 1789
- : 車両の通行の制限
: 腐食性物質
: 腐食性物質
: 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のない事を確認する。
転倒、落下、破損のないように積載し、荷崩れ防止を確実に行う。
火気注意、衝突注意、可燃性接触注意の表示をする。
法規に規定された基準に従って輸送する。
- : 非該当
: 非該当
: 名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2)

	(別表第9 No.98 塩化水素7.6%)
	(別表第9 No.89 硫酸1.9%)
化審法	: 非該当
化学物質排出管理促進法(PRTR法)	: 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)番号407 ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル
大気汚染防止法	: 特定物質(法第17条第1項、政令第10条) 排出規制物質(有害物質)(法第2条第1項3、政令第1条)
海洋汚染防止法	: 有害液体物質(Z類物質)施行令別表第1)
船舶安全法	: 腐食性物質(危規則第3条危険物告示表第1)
港則法	: 腐食性物質(施行規則第12条危険物)
航空法	: 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
道路法	: 車両の通行の制限

16. その他の情報

引用文献等	: 1)日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告(OELs) 2)Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices. ACGIH 3)原材料MSDS 4)European chemical Substans Information System
-------	---

- (1) 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
- (2) この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常取り扱いを対象としたものです。
- (3) 本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- (4) ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。